

II 令和3年度親子読書研修会

1 概要

- (1) テーマ
「親子読書のあゆみ」～世代をつなぐ「宝本」～
- (2) 日 時
令和3年7月4日（日） 13:00～16:05
- (3) 会 場
かごしま県民交流センター（県民ホール）
- (4) 内 容
 - ア 「おやこ一冊読書」について
 - イ 「おやこ一冊読書」取組発表・実演
 - 日当山小学校親子読書会（霧島市）
 - おはなし ととけっこう（南さつま市）
 - ウ 講演
講師 児童文学作家 くすのき しげのり 氏
演題 「一人ひとりが、みんなたいせつ～作品に託す願い～」

2 「おやこ一冊読書」取組発表・実演，質疑応答・意見交換

(1) 日当山小学校親子読書会



平成9年に発足し，今年度で25年目。これまでの先輩方が制作されてきた作品や培ってこられた意思をしっかりと引き継いで活動している。

現在は46人の会員で活動しており，おはなし会を年6回，朝の読み聞かせを6・10・11月，季節や内容等に合わせてエプロンシアターやブラックシアターなど工夫を凝らした親子読書活動を展開している。

当日は，これまでの実践の歴史から現在の取組成果について発表し，工夫した実演も披露した。

(2) おはなし ととけっこう



令和2年度鹿児島県優良読書グループを受賞。月に数回，定例会を実施し，保育園や小学校，特別支援学校でおはなし会を行っている。また，南さつま市立中央図書館では，おはなし会だけでなくおはなし宅配便といったボランティア活動も行っている。会員数3人ではあるが，少ない人数であることを感じさせないほど精力的な活動を行っている。

当日は，わらべうたを始め，新聞を使ったお話やストーリーテリングなど様々な実演を披露した。

(3) 質疑応答・意見交換



取組発表・実演の後，「1日20分読書で出会う，心に残る一冊の『宝本』」についての取組，「おやこ一冊読書」を推進する上での課題や改善策等について活発な意見交換が行われた。会場からは，親子読書活動を継続させるための工夫等について質問や意見が出され，今後の実践につながる機会となった。